

所長	G長	課僚

会 議 報 告 書

【報告者 産業部林業振興課 柳川紀恵】

起案	平成 31 年 4 月 22 日 (月)	部長	次長	課長	補佐	G長	課僚	起案
報告書								
議題 平成 31 年度サイト座談会		日 時：平成 31 年 4 月 22 日 (月) 11:00～12:00 場 所：天竜林業会館 2 階会議室 参加者：22 名 (別紙名簿のとおり) 浜松市：袴田雄三課長、藤江俊允 G 長、 神谷匠主任、柳川						
<p>1 概要</p> <p>モニタリング実施要領 (2 の (1) の①) に基づきサイト座談会を開催。</p> <p>2 内容 (主な意見)</p> <p>(1) FSC 関連</p> <p>佐久間) FSC 認証の取得開始から約 10 年経過。もうワンステップ必要な時期になっている。面積の増加だけでなく、もう 1 段上の展開を独自でやってみてもいいのでは。PR も打ち止めの雰囲気があり、山側からの PR という、山への関心や訪問を仰ぐだけになってしまうため、市のノベルティ制作はありがたい。山や FSC をアピールできる何かがほしい。</p> <p>市) FSC 認証の取得に精一杯だった時期から、ある程度、認知度が広がり、それらを活かす方向に決定打が欲しいのは確か。</p> <p>水窪) 率直に FSC 認証を取得したメリットが欲しい。</p> <p>県森連) 金銭的なメリットはないが、公共建築物へ使用する木材は FSC 認証材である必要性がある、という点でメリットと言える。</p> <p>春野) 特段メリットはないが、逆に FSC 認証未取得である場合のデメリットは大きい、とは言える。</p> <p>天竜) メリットを聞き出す機会はあまりなく、明確でない。</p> <p>県) FM 認証から COC 認証の方向へアプローチが必要。FSC 認証の趣旨と森林環境税の趣旨は同様であるため、その点をうまくリンクできると裏付けにもなって良いと思う。</p> <p>天竜) 山だけでなく、川下までを 1 連のサプライチェーンとして考えるべき。</p> <p>(2) 獣害対策</p> <p>天竜) コウヨウザンはシカ食害で全滅した。</p> <p>林研) 何か良い獣害対策はないか。</p> <p>市) 有害鳥獣捕獲の関係については、猟友会のなわばり問題が大きい。他の地域の人が他の地域に入って従事することは困難。</p> <p>国) 糞量法で調査しているが、天竜の熊や佐久間の浦川あたりはかなりシカ</p>								

の生息密度が高い。シカの生息域では天然更新は無理だと言われている。富士では、シャープシューティングと言って、餌のない冬場にヘイキューブ（乾燥した牧草）を林道に設置してシカを誘引し、集中的な捕獲を実施している。伊豆ではくくりわなで管理捕獲を行っている。

（3）その他

龍山）直面している課題としては、「担い手不足」。まもなく定年の職員が主要部分を占めている。学校も廃校になる傾向で、若い人が山林に定着できない状況。森林組合の合併が進めば、また状況が変わる話ではあるが。

3 意見

FSC 認証取得に対するメリットを上手く感じられていない雰囲気であった。本市の林業振興の根幹が揺るがないよう、FSC 認証材の活用や需要の拡大を推進しながら、決定打を模索していきたい。

平成 31 年度サイト座談会の様子

日 時：平成 31 年 4 月 22 日（月）11:00～12:00

場 所：天竜林業会館 2 階会議室

